

## 第1学年 総合的な学習の時間

### 「世界の仲間と共に生きる町を目指して」(20時間)

#### 1 単元の目標

- ① 地域に住む外国人との関わりを通して、多様な文化や思いに気づき、互いに尊重し合う態度をもって主体的に交流したり、外国人を取り巻く環境の改善に取り組んだりする。
- ② 外国人と共に暮らす町を目指して、多様な人々と共生することのよさを感じながら、仲間と協力して課題の解決に取り組むことができる。

#### 2 単元で育てたい資質・能力

##### ◇自主・自律

「学びに向かう力」

- ・自分でめあてを決めて、計画的に最後まで取り組むこと
- ・集中力や持続力を発揮して取り組むこと

- ・外国人と共に暮らす町の実現に向け、外国人と触れ合い、取り巻く環境の改善について考える。

##### ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること

- ・町に住む外国人の思いを知るために、多様な意見を受け入れながら、友達と協力して情報収集をする。

##### □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

- ・多様な人々との共生のよさを感じ、町の一員としてできることを考え、外国人を取り巻く環境の改善に取り組む。

##### ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

- ・町に住む外国人が困っていることや望んでいることを理解し、できることを考え、実践する。

#### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

国際教育	・地域に住む外国人との関わりを通して、国際社会において、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現しようとする態度を育てる。
日本の伝統・文化理解教育	・外国人と共に暮らす町を目指した調査活動や交流活動を通して、多様な文化を尊重する態度を育てる。
I C T 教育	・コンピュータのネットワーク機能を使って、外国人との共生の視点から町づくりについて調べることを通して、I C T 機器を適切に利活用する資質や能力を育てる。

#### 4 単元の指導計画 (20 時間扱い)

時間	主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 ◆人間関係 □社会参画 ■未来の創造 ★評価	指導上の留意点
1次 (5)	問 い を も つ  【外国人の日本での暮らしを考える】 ○自分たちの町に住む外国人について統計資料や日常経験を基に考える。(1) ・来日の目的や期間 ・人数 等 ○町に住む外国人を招いて話を聞く。(2) ・日本のよさ ・生活の中で困ったこと 等 ○町に住む外国人が生活の中で困ったことを整理し、学習課題を設定する。(2) ・言葉や衣食住 ・コミュニケーション 等	◇学びに向かう力 ★外国人と共に暮らす町の実現に向けて、外国人と触れ合い、取り巻く環境の改善について考えている。	・町で外国人と触れ合った経験について話し合い、興味・関心をもたせるようにする。 ・町に住む外国人にインタビューするための質問項目をあらかじめ考えさせるようにする。
2次 (5)	調 べ る  【外国人と共に暮らす町の実現に向け、情報を集める】 ○町に住む外国人に聞いてみたいことを話し合い、質問項目を決める。(1) ・日本に住んで良かったこと ・日本に住んで困ったこと 等 ○町に住む外国人に調査する。(4) ・街頭アンケート ・インタビュー 等	◆他者と協働する力 ★町に住む外国人の思いを知るために、多様な意見を受け入れながら、協力して情報収集を行っている。	・インタビュー活動では、日本語のほかにも英語で質問ができるように準備させる。
3次 (7)	実 践 す る  【外国人と共に暮らす町に必要なことを考える】 ○収集した情報を基に外国人と共に暮らす町について考え、自分たちにできることを話し合う。(2) ・困ったときのQ&Aリーフレットの作成・配布 ・簡単な英会話 ・商店街ガイドブックの作成・配布 ○前時に決めた活動に取り組む。(5)	■持続可能な社会の実現に向けた実践力 ★町に住む外国人が困っていることや望んでいることを理解し、できることを考え、実践している。	・「暮らしやすさ」の視点から、自分たちにできることについて考えるように助言する。
4次 (3)	振 り 返 る  【これまでの活動を振り返る】 ○活動報告を行い、自分たちの取組について町に住む外国人と話し合う。(2) ・町の中学生の支えをうれしく思う。 ○活動を振り返り、作文を書く。(1) ・町に暮らす仲間として助け合えた。 ・ガイドブックは喜んでもらえた。今後、様々な国の人が使えるようなものを作ることができると思う。	□主体的に計画・行動する力 ★多様な人々と共生することのよさや責任を感じ、町の一員としてできることを考え、外国人を取り巻く環境の更なる改善に取り組もうとしている。	・可能な限り直接交流を通して振り返り、町に住む外国人とのつながりを感じさせ、自分たちにできることを考えさせるようにする。

## 第2学年 総合的な学習の時間

### 「発見! 地域の宝」 (18時間)

#### 1 単元の目標

- ① 地域の文化財や、その保護に関わる人々の思いに触れ、地域で大切にされている文化財のよさを感じ、それを保護するために活動することができる。
- ② 地域の文化財のよさを伝える発表会の実現を通して、文化財を継承する担い手としての自覚を高める。

#### 2 単元で育てたい資質・能力

##### ◇自主・自律

「学びに向かう力」

- ・自分でめあてを決めて、計画的に最後まで取り組むこと
- ・集中力や持続力を発揮して取り組むこと

・地域の文化財のよさを伝える発表会の実現に向け、自分の役割を明確にもち、粘り強く活動する。

##### ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること

・地域の文化財の調査やその素晴らしさを考える中で、多様な意見を受け入れながら話し合ったり、協力したりする。

##### □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

・地域の文化財を継承していくことのよさや責任を感じ、今後の課題や自分にできることを考える。

#### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

日本の伝統・文化理解教育	・地域の文化財の価値や、その保護に関わる人々の思いに触れることで多様な文化を尊重する態度を育てる。
国際教育	・様々な人々と関わりながら、文化財の価値を伝える活動を進めることで、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現する力を育てる。
I C T 教育	・コンピュータによる授業等で地域の文化財について調べることを通して、I C T 機器を利活用する資質や能力を育てる。

#### 4 単元の指導計画（18時間扱い）

時間		主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 ◆人間関係 □社会参画 ★評価	指導上の留意点
1次 (3)	問 い を も つ	<b>【地域の文化財の素晴らしさを伝える】</b> ○地域で大切にされている文化財を見学したり、その保護についての話を聞いたりする。(2) ・都指定の文化財 ・区市町村指定の文化財 ・獅子舞や御神楽などの民俗文化財 ・こんなに古い物があることをこれまで知らなかった。 ・後継者不足で、このままでは保護する人がいなくなってしまう。 ○学習課題の設定に向けてキーワードを整理する。(1) ・歴史 ・背景 ・価値 ・分布 ・保護 ・継承 等	◇学びに向かう力 ★案内や見学に関わる人の話から地域にある文化財に興味・関心をもち、文化財の素晴らしさや保護に関する課題を考えている。	・地域の文化財として代表的な地域の文化財を取り上げて、見学する際の視点を事前にもたせるようにする。 ・地域の文化財を保護する人の話から、文化財の保護・継承に関わる問題点にも着目させるようにする。
2次 (6)	調 べ る	<b>【地域の文化財について調べる】</b> ○地域の文化財について調べる計画を立てる。(1) ・どのような歴史があるのか ・どのようないわれがあるのか ・どのように保護されているのか ○地域の文化財について調べる。(5) ・文化財の歴史やいわれ ・文化財のもつ価値 ・文化財の保護 ・人々の役割 等	◆他者と協働する力 ★地域の文化財の調査やその素晴らしさを考える中で、多様な意見を受け入れながら話し合ったり、協力したりしている。	・調べる計画を立てる際に、グループの中での役割分担を行うようにする。 ・地域の文化財を調べる際には、地域の郷土博物館を利用するほかに、博物館のホームページを活用して調べることを助言する。
3次 (6)	実 践 す る	<b>【地域の文化財のよさを伝える】</b> ○役割を決めて、発表会に向けて準備をする。(3) ・資料の作成 ・リハーサル 等 ○地域の文化財について調べたことの発表会をする。(3)	◇学びに向かう力 ★日本の文化財の素晴らしさを伝える発表会の実現に向けて、自分の役割を明確にもち、粘り強く活動している。	・文化財のもつよさや価値を伝えるといった趣旨をあらためて振り返らせ、発表内容の構成を考えさせるようにする。
4次 (3)	振 り 返 る	<b>【地域の文化財の継承について考える】</b> ○地域の文化財の保護について自分の考えをまとめる。(1) ○地域の文化財の保護に取り組む人との意見交換会を行う。(1) ○地域の文化財の保護について自分の考えを再考し、意見文にまとめる。(1) ・作文 ・ワークシート	□主体的に計画・行動する力 ★日本の文化を継承していくことのよさや責任を感じ、今後の課題や自分が取り組むべきことを考えている。	・文化財の保護・継承に関わる人の思いや願いに着目しながら意見交換会を行うように助言する。 ・意見文には、自分の関わり方や意識の変容を書くように助言する。

## 第3学年 総合的な学習の時間

### 「日本の伝統文化の価値を考えよう」(22 時間)

#### 1 単元の目標

- ① 日本の文化財や伝統文化について友達と協力して調べたり体験したりすることを通して、自国の文化財や伝統文化を尊重する態度を育てる。
- ② 伝統文化を継承してきた日本人の心情や文化面での国際社会における貢献について考えることで、国際社会に生きる日本人としての自覚と誇りを高める。

#### 2 単元で育てたい資質・能力

##### ◇自主・自律

「学びに向かう力」

- ・自分でめあてを決めて、計画的に最後まで取り組むこと

- ・日本の特色のある文化財や伝統文化を調べたり体験したりすることを通して、文化財や伝統文化への理解を深め、保護・活用していく取組の実現に向けて方法と手順を考える。

##### ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること

- ・文化財の価値や保護・活用のために必要な情報を集めるために、友達と互いに協力したり、関わる他の人のことを考えたりして調べる。

##### □社会参画

「グローバル化に対応する力」

- ・日本人としての自覚をもって我が国の伝統や文化などのよさについて理解を深めること

- ・日本人として自国の伝統文化を尊重する態度をもって調べたり体験したりするとともに、文化財を保護・活用する方法を考え、発信する。

##### ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

- ・文化財の価値やその保護の大切さについて、体験を通して理解を深め、文化財の素晴らしさを伝えたり、保護の重要性を手紙で発信したりする。

#### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

日本の伝統・文化理解教育	・自国の文化財や伝統文化について学び、多様な文化を尊重する資質や能力を育てる。
国際教育	・自国の文化やそれを保護する取組の尊さを理解し、自らできることを考えたり実行したりすることで、国際社会の中で相手の立場を尊重しつつも、自分の考えや意思を表現する力を育てる。
I C T 教育	・コンピュータ等を使って、修学旅行で訪れる地域の文化財について調べることで、I C T 機器を適切に活用する資質や能力を育てる。



#### 4 単元の指導計画 (22 時間扱い)

時間		主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 ◆人間関係 □社会参画 ■未来の創造 ★評価	指導上の留意点
1次 (4)	問 い を も つ	<p>【修学旅行で訪れる地域の文化財を調べる】</p> <p>○修学旅行で訪れる地域の文化財やそれに関わる人々の思いを調べる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の概要、歴史</li> <li>文化財の分布</li> <li>文化財を保護する取組</li> <li>文化財の保護に取り組む人々の思いや努力</li> </ul> <p>○文化財の保護のために必要なことを考え、調べる計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の素晴らしさを多くの人に伝えることが大切である。</li> <li>保護や保全にかかる費用はどのようにすればよいのかについて考える必要がある。</li> <li>海外の文化財の保存の仕方はどのようなになっているのか。</li> </ul>	<p>◇学びに向かう力</p> <p>★文化財について調べる活動から、その素晴らしさを保護することの大切さに気づき、文化財の保護に向けた取組を考える計画を立てている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>修学旅行で訪れる地域の文化財の写真を提示して、興味・関心をもたせるようにする。</li> <li>文化財を保護する人々の思いや努力に着目できるように、インタビューした映像を提示する。</li> <li>海外の文化財を保護する取組にも触れて、興味・関心をもたせるようにする。</li> </ul>
2次 (5)	調 べ る	<p>【文化財を守る取組を調べる】</p> <p>○文化財を守る取組について調べる。(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の文化財を地域住民が守っている取組</li> <li>技術が失われないように、定期的に解体して補修をする取組</li> <li>海外の文化財を保護するための日本の支援</li> <li>文化財を守る上での課題とその背景 等</li> </ul>	<p>◆他者と協働する力</p> <p>★情報を集める際に文化財に関わる多様な考えや立場を理解し、友達と協力して調べている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の保護や観光業での活用など、いくつかの取組を考えさせる。</li> </ul>
3次 (8)	実 践 す る	<p>【現地での調査・取材、体験をする】</p> <p>○収集した情報を基に、文化財の調査・取材や伝統文化の体験を行うための計画を立てる。(3)</p> <p>○調査・取材や体験を通して、日本の文化財や伝統文化のよさについて話し合う。(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>茶の湯体験</li> <li>座禅体験</li> <li>観光地の訪問者へのインタビュー活動 等</li> </ul>	<p>□グローバル化に対応する力</p> <p>★世界の中の日本人としての自覚をもって調査や取材、体験を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動をすぐに制限せず、実現可能かどうかを生徒自身が確かめながら進めるようにする。</li> <li>インタビューの際に留意することを事前に指導する。</li> </ul>
4次 (5)	発 信 す る  振 り 返 る	<p>【保護・活用の取組を発信する】</p> <p>○日本の文化財や伝統文化の素晴らしさ、その保護・活用の必要性について発信する。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史、祭、食文化、文化財等について紹介するリーフレットの作成</li> <li>地域の博物館の広告の作成</li> <li>文化財の保護に取り組む団体への手紙の作成</li> </ul> <p>○活動を振り返り、考えたことを作文に書く。(1)</p>	<p>■持続可能な社会の実現に向けた実践力</p> <p>★文化財や伝統文化をこれからも残していくために、自分にできることを考え、実践している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページによる発信や、文化財の保護に取り組む人への手紙の送付などにおける、意見発信時の責任について指導する。</li> </ul>

## 第3学年 総合的な学習の時間

### 「国際社会に生きる私たち」（13 時間）

#### 1 単元の目標

- ① 国際社会が抱える問題について理解することを通して、グローバル化する社会の中で、自分がどのように生きていけばよいかについて考え、国際協力の在り方について自分の考えを発信することができる。
- ② 国際社会が抱える問題の解決に向けて自分たちが協力できることを考える学習を通して、国際的視野に立って、主体的に行動するための資質や能力の基礎を育てる。

#### 2 単元で育てたい資質・能力

##### ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

・話し合いやゲストティーチャーの話から、国際社会の紛争や貧困などの問題に対して、自分たちが協力できそうな課題を設定し、解決の方法と手順を考える。

##### ◆人間関係

「他者と協働する力」

・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること

・互いのよさを認めながら、話し合いや調査活動を進めるとともに、国際的な視野に立ち、相手を尊重しながら、国際協力について自分のできることを考える。

##### □社会参画

「グローバル化に対応する力」

・国際的視野に立って、世界の中の日本人としての自覚をもって行動すること

・自国とともに他国の文化を尊重する態度をもつとともに、国際協力について考え、世界の中の日本人としての自覚をもって行動しようとする。

##### ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

・国際社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、発信する。

#### 3 単元で扱う主な教育課題との関連

国際教育	・グローバル化していく社会の中で、自分がどのように生きていけばよいのかについて考えることを通して、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できる態度を育てる。
I C T 教育	・コンピュータ等の I C T 機器を使って、国際社会の諸問題について考えるための情報を得ることを通して、I C T 機器を適切に活用する資質や能力を育てる。

#### 4 単元の指導計画(13 時間扱い)

時間	主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 ◆人間関係 □社会参画 ■未来の創造 ★評価	指導上の留意点
1次 (3)	問 い を も つ  【グローバル化の課題について考える】 ○グローバル化によって、社会がどのように変わってきたかについて話し合う。(1) ・モノカルチャーとプランテーション ・世界各地への往来 ・情報の増加 等 ○ゲストティーチャーによる、グローバル化を考えるワークショップを行う。(1) ○スピーチ大会に向け、「グローバル化の中でどのように生きていけばよいか」をテーマに、自分で調べる計画を立てる。(1) ・将来、世界で働くにはどのような仕事があるのか。 ・自分たちの生活の中で、外国の人と協力できることはあるのか。	◇問題発見・解決力 ★話し合いやワークショップを通じて国際社会の抱える問題について自分たちが協力できそうなことを課題として設定し、解決するための方法と手順を考えている。	・グローバル化によって、社会生活が向上した点、格差が拡大した点など様々な面から変化を話し合わせる。 ・外国の状況を調べることを通して、日本のことも振り返り考えさせるようにする。
2次 (4)	調 べ る  【グローバル社会について情報を収集する】 ○グローバル社会の中で、国際社会が抱える問題を解決していくためには、どのような協力ができるか調べる。(3) ・青年海外協力隊の活動 ・ユニセフなどの国際協力への参加 ・経済協力につながる商品選択 等 ○自分の考えを基に調べた情報を整理する。(1)	◆他者と協働する力 ★目標に向けて、国際社会が抱える問題を解決するために、多様な考えや立場を理解して、友達と協力して情報を集めている。	・国際協力として、直接現地で技術協力を行う場面や、消費活動につながる経済的な場面などを想定させる。
3次 (3)	実 践 す る  【国際協力について考える】 ○国際協力で、これから大切にしていきたいことなどを話し合う。(1) ・相手国に行つての直接の協力 ・グローバル社会の中での経済協力 ○グローバル化してきている社会に対して、自分がどのように行動していきたいかについて作文を書く。(2)	□グローバル化に対応する力 ★国際的な視野に立って、世界中の日本人としての自覚をもって行動しようとしている。	・社会科や家庭科などでこれまで学習したことを踏まえながら、スピーチの具体的な内容を考えさせるようにする。
4次 (3)	発 信 す る  【国際協力についてスピーチ大会を行う】 ○クラスで発表会をする。(1) ○全校スピーチ大会を開催して、代表者が作文を発表する。(2) ・経済活動での自らの消費意識の大切さ ・相手を知るための交流の大切さや交流を続けるための努力 ・自由に各国を往来できる平和の大切さと、技術協力の重要性	■持続可能な社会の実現に向けた実践力 ★国際社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分にできる国際協力について考え、発信している。	・スピーチ大会では、スピーチを全校生徒に聞かせることで、意欲を高めるようにする。